

第179回運営委員会概要 平成29年9月20日(水) 18:30~20:30

- ◆会場：柏崎原子力広報センター 1F実験室
- ◆出席委員：桑原会長、石坂副会長、高桑副会長、高橋、田中、千原、三井田、山崎、吉田
出席委員 9名
(欠席委員：三宮)
欠席委員 1名
- ◆オブザーバー：原子力規制庁(平田所長)
資源エネルギー庁(日野所長)
柏崎市(砂塚主任)
東京電力HD(株)(森田副所長・佐藤英RC・山本GM・徳増)
- ◆事務局：(公財)柏崎原子力広報センター／石黒、坂田

1 次回以降定例会内容について(10月、11月、12月)

- 10月：第172回定例会(第1水曜) 10月4日(水) 18:30~20:50
9月20日(水) 運営委員会
- 11月：第173回定例会(第1水曜) 11月1日(水) 18:30~20:50
10月18日(水) 運営委員会
- 12月：第174回定例会(第1水曜) 12月6日(水) 18:30~20:50
11月15日(水) 運営委員会

- ◆10月定例会(第172回、10月4日)、11月定例会(第173回、11月1日)の内容について

議題： 広域避難計画に関する意見交換・・・10月・11月定例会の共通議題

〈議長〉10月定例会では、事前に提示してもらった質問・意見書をオブザーバーへ情報提供し、全委員の質問や要望に対して、文書で回答してもらう。時間的な制約などで10月に回答が準備できない場合は、11月での回答も可とする。11月定例会では、未回答分を含め、10月にできなかった質疑応答や補足説明などを求めて、内容をつめた意見交換の場としたい。

〈委員〉10月の運営委員会で1回目を終えての定例会内容を協議し、2回目のやり方について軌道修正していけばよいのではないかと。

(委員賛成・了解)

※オブザーバーからの回答について

- ・回答方法は文書でお願いしたい。
- ・質問については「回答」を、要望(提案)については「見解」を求めたい。

- ・質問・要望先については事務局で確認後、オブザーバーへ案内する。
- ・質問数が多いため、回答準備が間に合わない場合（特に新潟県や柏崎市）は、11月定例会時に回答を持ち越すなどして、できる範囲での回答としてもらう。
- ・内容が重複または類似している質問・要望等については、個別で回答することはせず、事務局で大別したカテゴリーを参考に、全体に対するの见解や回答とする。
- ・定例会全体の時間配分については、議題部分になるべく多く時間をとるようにする。また、フリートークについては、これまでどおり、なるべく多くの委員から発言してもらえよう、議長が時間や発言回数などを判断して実施する。

◆12月定例会（第174回、12月6日）の内容について

議題： リスクコミュニケーションに関する勉強会

〈議長〉講師に長岡技術科学大学の太塚准教授を招き、勉強会を開催することとなっている。

〈事務局〉開催日については、承諾を得ており、内容については調整中。イメージとして、前半はリスクコミュニケーションの講義、後半は地域の会におけるリスクコミュニケーションや外から見た地域の会への評価などについて話しを伺い、意見交換を行う。特に要望がなければ、このような流れで進めたいと考えている。

（委員賛成・了解）

2 地域の会情報誌「視点」について

- ・視点第86号（第170回定例会分）について、内容確認。訂正を行った。

3 委員からの質問・意見について

- ・文書回答とする。

〈委員〉今回提出された質問の中には、地層問題に関するかなり専門的な内容がある。質問すること自体問題ではないが、この内容を他の委員はどれくらい理解している人がいるのか疑問。このような質問は地域の会を通すのではなく、東京電力やもっと専門的な機関など別の場で質問した方が質問者にとってもよい回答を得られるのではないか。

〈委員〉たしかにほとんど分からない分野ではあるが、文書回答であれば、それを見て分かる人がいたり、知りたい人もいると思う。これまで同様、文書で質問したものについては、文書で回答してもらおうという原則でよいと思う。内容云々で分けることはない。

〈委員〉ただし、前回あったように、それを議題に取り上げたり、会としての行動が伴うものについては問題があると感じている。個人で要望したものが、会全体の要望としてつながっていくのはおかしいという観点からであって、その点はきちんと分けて考えてほしい。

〈会長〉いろいろな立場で質問することはよいと思うが、質問すれば何でも地域の会で取り上げるというものではない。また、誤解されている人もいるが、これまで同様、「地域の会質問・意見書」にある文言内容で、質問を規制しているということは全くないことを理解してほしい。

（委員・オブザーバー了解）

※なお、9/6に委員限定に配布された「地域の会質問・意見書」用紙の文言については、誤解を招く表現であると意見が出たため、前様式の文言に戻すこととした。

4 その他

① 定例会における委員の座席固定について

- ・10月、11月の定例会は関連があるため、同じ座席としたい。
 - ・会議開始後は隣同士の接触はないため、10月、11月の定例会を機に、今後の委員座席を固定化してよろしいか。良い点としては、遅参した場合も含め、本人の位置確認が容易になる。
- ※次回以降での協議とした。

② 「地域の会 質問・意見書」に関する質問について

※宮崎委員から桑原会長宛に質問書が届いたため、運営委員会で内容を共有し、取扱いについて協議を行った。

〈会長〉冒頭でも話しをさせてもらったが、質問すれば何でもかんでも地域の会でとりあげるというものではない。また、質問することに規制をするということは一切無いが、新委員との間で考え方にズレがあると感じている。地域の会の役割とは、発電所の安全性を監視する、議論することを目的としており、原発推進・反対の活動については会の外で行うのが大原則である。また、過去の事例として、地域の会で福島事故の賠償について取りあげてはどうかという意見が出たこともあったが、その時は「柏崎刈羽原子力発電所の透明性を確保する地域の会」であって、個人の財産や福島の補償について議論する場ではない、また、テーマが会にふさわしくない、ということで却下された。同じように、前回提出された要望書では、委員個人としての要望があったとしても、会全体としての要望ではなかったため、個人で関係機関にお願いしてはどうかという話しになった。このように会全体として取り上げるものか、議論が必要なものはきちんと区別する必要があるということで、運営委員会でのチェックを行っている。それは今も昔も、会としての考え方は全く変わっていない、ということは申し上げておきたい。

〈委員〉（会長談にある）前回提出された要望というのは、個人の要望が会全体の行動を伴うような提議であったので取り下げてもらった。内容がどうだということで取り上げなかったわけではない。誤解の無いようにしてもらいたい。

〈委員〉質問の形はとっていたものの、「それはできますか」というような個人の要望を会の要望として取り上げて欲しいという内容だったから、それはできないし、ふさわしくないというだけの話し。やり方の問題であって、もし必要であれば、個人的にお願いしてはどうかということ。

〈委員〉自分は委員改選時に「地域の会とはどういうものか」を先輩委員から聞かされていたが、初めて委員になった方もいるので、会則などを含め、改めて委員全員で認識し直す時間を設けてはどうか。最近、どうもおかしな雰囲気を感じている。地域の会は諮問機関でもないのに、会にいろいろと判断することを求めたり、われわれが地域住民の声を代弁していると拡大解釈されている部分が見受けられるのは、会として少し考える必要があるのではないかと思う。

〈会長〉では、この運営委員会で協議された内容の議事録を全委員に配布して、認識を共有することで、宮崎委員への回答としたいが、よろしいか。

（委員了解）

③ 原子力防災対策研修会の参加について

- ・委員10名から参加希望あり（9/20時点）
結果を取りまとめた後、事務局より市へ報告する。

④ 運営委員以外の参加委員より（感想）

- ・推薦を受けた地域の代表として参加しているため、基本的には地域のためになるような意見や発言をしている。今日は参加できて良かった。ありがとうございました。
- ・運営委員会に初めて参加したが、難しい言葉や内容を理解するのが大変だったというのが正直な気持ち。参加させてもらいありがとうございました。

【10月定例会タイムスケジュール（予定）】

- 18：30～19：10 「前回定例会以降の動き」
（東京電力HD、規制庁、エネ庁、新潟県、柏崎市、刈羽村）
- 19：10～20：30 「広域避難計画に関する意見交換」
- 20：30～20：50 その他、フリートーク